

狩猟及び許可捕獲等による主な鳥獣の捕獲数

(十の位で四捨五入)

上段：狩猟 下段：その他※	獣 類 (頭)					鳥 類 (羽)
	イノシシ	ニホンシカ	ニホンザル	カモシカ	クマ類	カワウ
1960年度 (S35)	27,700	7,600			800	
	5,300	200	100	0	500	0
1965年度 (S40)	35,200	12,900			700	
	7,800	800	200	0	1,000	0
1970年度 (S45)	53,700	14,300			1,200	
	9,700	300	500	0	2,300	0
1975年度 (S50)	61,700	12,200			1,000	
	10,800	800	1,300	0	1,700	0
1980年度 (S55)	69,300	18,200			1,000	
	12,300	2,000	2,700	0	1,300	0
1985年度 (S60)	51,000	21,300			1,000	
	9,200	4,400	5,100	0	1,500	200
1990年度 (H2)	57,600	31,300			1,000	
	12,600	10,700	4,900	0	700	1,400
1995年度 (H7)	71,400	56,300			800	
	16,400	25,500	5,800	0	800	3,600
2000年度 (H12)	100,600	90,700			800	
	47,700	46,700	9,700	1,200	1,200	7,100
2001年度 (H13)	125,200	92,100			600	
	58,600	49,200	10,800	1,200	2,000	7,600
2002年度 (H14)	145,900	94,700			800	
	76,700	53,600	11,700	1,200	1,200	9,100
2003年度 (H15)	133,900	100,500			600	
	76,000	59,600	11,100	1,100	1,600	10,100
2004年度 (H16)	168,500	109,100			300	
	99,600	64,800	14,100	1,100	2,500	23,000
2005年度 (H17)	139,900	120,600			700	
	76,400	69,600	9,300	1,100	1,100	20,800
2006年度 (H18)	145,700	118,300			300	
	108,100	79,600	15,100	1,000	4,800	27,700
2007年度 (H19)	134,800	121,500			600	3,400
	97,000	90,200	12,600	900	1,300	24,800
2008年度 (H20)	170,100	135,400			600	4,100
	136,600	115,200	15,900	900	1,400	13,800
2009年度 (H21)	159,800	157,400			400	3,300
	148,900	154,800	16,200	800	1,500	31,800
2010年度 (H22)	228,300	168,100			400	3,800
	248,700	195,000	21,900	900	4,000	37,100
2011年度 (H23)	169,300	183,600			500	3,600
	221,200	231,900	17,800	800	1,800	25,800
2012年度 (H24)	161,200	193,800			400	3,300
	265,400	272,600	25,100	800	3,300	24,400
2013年度 (H25)	156,700	176,800			500	3,500
	296,200	336,500	19,800	800	1,900	24,500
2014年度 (H26)	174,400	189,900			400	5,200
	346,200	398,100	27,200	700	4,100	22,400
2015年度 (H27)	166,100	168,700			400	4,600
	387,600	424,900	25,100	700	1,900	23,300
2016年度 (H28)	162,700	161,100			400	4,500
	457,700	418,200	25,100	600	3,800	20,900
2017年度 (H29)	143,300	157,800			500	4,500
	409,200	443,000	23,200	600	3,900	17,000
2018年度 (H30速報値)	142,300	142,900			400	3,300
	462,600	429,400	23,500	500	3,600	15,800
2019年度 (R1速報値)	132,800	137,400			—	—
	507,800	465,500	—	—	6,300	—
2020年度 (R2速報値)	123,100	148,700			—	—
	555,800	526,100	—	—	7,200	—

※：H17・18年度の「狩猟」には、「構造改革特区」の数値を含む。

※：H19年度にカワウを狩猟鳥獣に追加。

※：「その他」は、環境大臣、都道府県知事、市町村長による鳥獣捕獲許可の中の「被害の防止」、「第一種特定鳥獣保護計画に基づく鳥獣の保護（平成26年の法改正で創設）」、「第二種特定鳥獣保護計画に基づく鳥獣の数の調整（平成26年の法改正で創設）」、「特定鳥獣保護管理計画に基づく数の調整」及び「指定管理鳥獣捕獲等事業（平成26年の法改正で創設）」である。

※：2000年度以降は毎年集計。それ以前は5年ごとの集計。

※ 平成30年度、令和元年度及び令和2年度速報値は、令和3年8月19日現在であり、令和元年度及び令和2年度のクマ類の狩猟による捕獲数、ニホンザル、カモシカ及びカワウの捕獲数は未集計。

# 1、静岡県<sup>ちやうじゆう</sup>の鳥獣<sup>のうさくもつ</sup>による農作物<sup>ひがい</sup>の被害

令和4年度の野生鳥獣による農作物の被害額は約2億4千8百万円であり、昨年度に比べ約8百万円増加した。また、ピークであった平成21年度の約46%となっている。

(注：農作物にはわさびとたけのこを含み、きのこを除く。) 2024/03/28

表1 年度別の農作物への被害額（単位：百万円）

年度	平成29年	平成30年	令和1年	令和2年	令和3年	令和4年
被害額	319	309	295	297	240	248

## 鳥獣種別の被害額<sup>ちやうじゆうしゆべつ ひがいがく</sup>

令和4年度における鳥獣種別の被害額は、イノシシ、ニホンジカが多く、全体の約6割を占めている。ノシシによる被害額は、昨年度に比べて減少<sup>げんしょう</sup>したものの、ニホンジカによる被害額は増加した。

表2 鳥獣種別の被害額（単位：百万円）

年度	平成29年	平成30年	令和1年	令和2年	令和3年	令和4年
イノシシ	136	136	140	131	90	84
ニホンジカ	72	61	62	73	69	74
サル	29	30	25	26	19	18
その他	82	82	68	67	63	72
合計	319	309	295	297	240	248

(注) 数値を四捨五入しているため、合計値は異なる。

コメント①イノシシ被害：R3年とR4年猪による被害が大幅に減少したのは、

R3年から大流行した豚熱<sup>ぶたねつ</sup>（豚コレラ）により猪<sup>いのしし</sup>が大幅に減少したため。

②令和6年はまたイノシシが増え始めているので被害が拡大<sup>かくだい</sup>する可能性大<sup>かのうせいだい</sup>。

全国では、2022年の野生鳥獣による農作物被害は約156億円で、4割をニホンジカが占める。森林被害<sup>しんりんひがい</sup>も7割がニホンジカ。

鹿<sup>か</sup>の分布域は近年拡大。個体数も本州以南に推計<sup>すいけい</sup>246万頭(22年度末)が生息している。

温暖化による積雪<sup>おんだんか</sup>の減少<sup>せきせつ</sup>、ハンターの減少<sup>げんしょう</sup>や高齢化<sup>こうれいか</sup>、耕作放棄地<sup>こうさくほうきち</sup>の増加<sup>ぞうか</sup>などが要因<sup>よういん</sup>に。

繁殖力<sup>はんしよくりよく</sup>は強く、捕獲<sup>ほかく</sup>しない場合計算上は年に2割程度増え、4、5年で倍増<sup>ばいぞう</sup>する。